



AIによる人同士の コミュニケーション支援

東風上 奏絵 京都大学情報学研究所助教

Yin Jou HUANG 京都大学情報学研究所助教

自然言語処理とロボティクスの若手研究者がコラボレーションして、AIによる人同士のコミュニケーション支援について、ロボットも参加して紹介します。実演を通じて、ロボットによる言葉の内容理解と、身振りや視線などの振る舞いが円滑なコミュニケーションに不可欠であることを示します。また、専門用語を説明してくれるAIや場を暖めてくれるAIなど、人同士のコミュニケーションを支援するAIの様々な用例を紹介します。

深層学習(ディープラーニング)を端緒として始まった人工知能(AI)の進展は、ChatGPTに代表されるように人間の知能に迫るレベルに到達しつつあるともいわれます。その原理や様々な展開に関して、人間の脳・認知能力の解明に関する研究とあわせて紹介します。

2023 **8.18** 金

13:00-16:40 (12:00 開場)

参加
無料

対象：高校生・中学生・および一般

プログラム・講演内容

13:00-13:10

開会の挨拶

五十嵐 淳 研究科長

13:10-13:50

脳内イメージを AIで可視化する

神谷 之康 京都大学情報学研究所教授

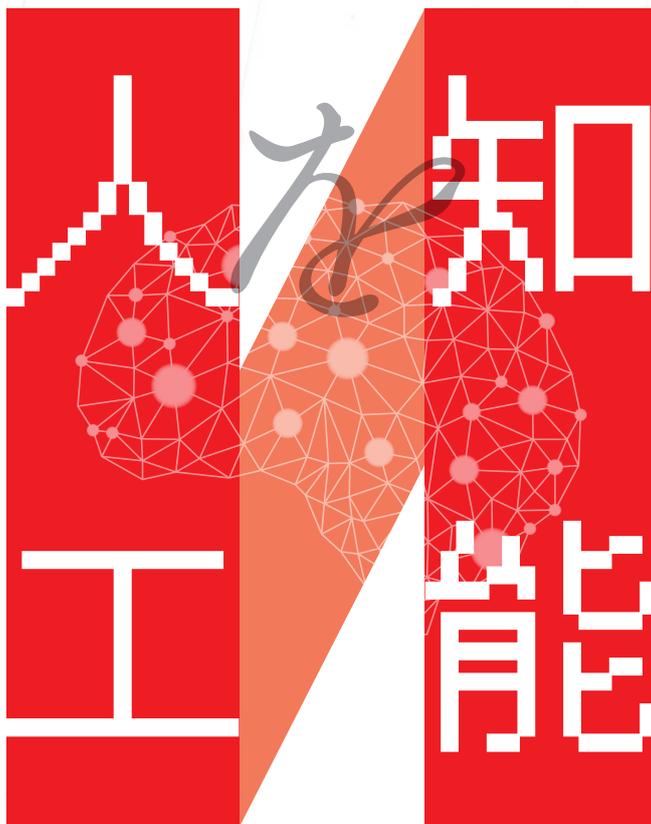
古来より心の状態は、その人が発する言葉や行動などから推測するしかないとされてきました。近年の脳科学とAI技術の進歩によって、行動には現れない内的状態を「見る」ことが可能になりつつあります。ヒトの脳計測信号をAI技術を用いて解析することにより、視覚像や夢の内容を解釈ブレイン・デコーディング技術の将来展望について議論します。

14:00-14:40

カメラで「見る」から AIで「見る」へ

西野 恒 京都大学情報学研究所教授

コンピュータビジョン研究は計算機に視角を与えることを目的に、顔認識から自動運転に至るまで目覚ましい発展を遂げてきました。単に視覚情報を撮像し解析するにとどまらず、一步深く人間と同じように、あるいはそれ以上に知的に知覚として「見る」コンピュータビジョンを目指して我々が展開している研究を紹介します。



15:40-16:20

言語モデル としてのChat GPTの 原理と課題

河原 達也 京都大学情報学研究所教授

言語モデルは、かな漢字変換や機械翻訳・音声認識などにおいて用いられており、当初は文法規則に基づいていましたが、統計的モデルが導入され、深層学習モデルに展開しました。この言語モデルの発展の歴史について解説するとともに、Chat GPTの構成とその能力及び限界について述べます。

16:30-16:40

閉会の挨拶

西田 真也 知能情報学コース コース長

講演はオンラインとオンラインの
両方で行います

オンライン 定員：先着160名

場所：京都大学 総合研究8号館3階NSホール

オンライン 定員：先着450名

Zoom ウェビナー
(URLは、お申し込みいただいた方に連絡いたします)

京都大学 情報学研究所 公開講座



申し込み方法 下記URLかQRコードよりお申込みください
URL <https://forms.gle/d1u93HbrMJFrcYrz5>

お問合せ先 〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学 情報学研究所 公開講座事務局
E-mail 140soumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

